



家庭用生ごみ処理機の購入費補助
 電動生ごみ処理機で、家庭の生ごみ減量に取り組んでみませんか

ごみにしない! 3R推進コーナー

問 廃棄物対策課 ☎782・0339

家庭用生ごみ処理機とは

家庭用生ごみ処理機は、季節を問わず使用でき、ごみの減量に役立ちます。

生ごみを乾燥させて減量化する「乾燥式」、堆肥にリサイクルする「バイオ式」、乾燥式とバイオ式の両方の方式を取り入れた「ハイブリッド式」があります。

※電気を使わない「コンポスト」で生ごみを堆肥化する方法もあります（補助対象外）

メリット

- ・ごみの減量化により、ごみ袋が軽くなり、ごみ出しの負担が減ります。
- ・キッチンの生ごみのニオイが抑えられます。
- ・生ごみを堆肥化した場合、有機肥料として家庭菜園などに利用できます。

電気式生ごみ処理機の種類と特徴

種類	乾燥式	バイオ式	ハイブリッド式
処理方法	ごみを温風などで乾燥処理し、1/7に減量	ごみを微生物によって分解し、1/10に減量	ごみをある程度乾燥させてから微生物で分解し、1/10に減量
電気代	バイオ式と比べてかかる	乾燥式と比べてかからない	乾燥式とバイオ式の間
メリット	・省スペースで、室内向け ・臭いが少ない ・虫が発生しない	・堆肥を作る場合に向いている ・静音性に優れる	・乾燥式とバイオ式に比べて、堆肥化する時間が短い
デメリット	・バイオ式とハイブリッド式に比べて、堆肥化に時間がかかる	・乾燥式とハイブリッド式に比べて、臭いが強い ・バイオチップが必要	・乾燥式とバイオ式に比べて、本体価格が高い ・本体が比較的大きく、スペースが必要
価格	2～8万円	2～9万円	6～12万円

※この表は各メーカーの資料やウェブサイトをもとに分類したものです。機種のパフォーマンスや価格など詳しくは、各メーカーや販売店にご確認ください

購入費補助制度

家庭から出る生ごみの減量化と資源化を推進するため、購入費用を補助しています。

※購入前の申請が必要です。ご注意ください

対象者 市内に住所があり、電気式生ごみ処理機を購入して生ごみの減量化・堆肥化を行う人

対象機種 電気でごみを減量化・堆肥化する処理機

補助金額 購入費の1/3以内（限度額2万円、1,000円未満は切捨て、1世帯1台まで）

※購入費には、配達料や別売りの付属品、工事費などは含まない

受付窓口 廃棄物対策課、総合窓口（本庁舎）、大和・塩沢市民センター

申請方法

- ①受付窓口にある申請書（市ウェブサイトからダウンロード可）を記入のうえ、見積書の写し、カタログ（仕様書）を添付して申請してください。
- ②市から交付決定通知書が届いたら、生ごみ処理機を購入してください。
- ③購入後は、実績報告書に保証書と領収書の写しを添付して受付窓口へ提出してください。
- ④市で実績報告書を確認後、指定の口座に補助金を振り込みます。（おおむね1か月かかります）

